

政策	42 総合的な福祉の構築						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地		有	受益者負担	適正
	上位貢献度	有効	類似事業の有無		無	成果向上の余地	有
対象	市民（障がい者・高齢者・子育て世代等）						
施策が目指す姿	要支援者の多様なニーズに応じた細やかな福祉サービスの提供が図られている。また、様々な主体による福祉の取り組みが積極的に進められ、地域で支え合い助け合うことのできる環境が整っている。						
成果指標	障がい者に対する支援満足度...平成29年度目標値70%(現状値47.2%) 学童保育・保育所の待機児童数...平成29年度目標値0人(現状値0人) 元気な高齢者の割合(介護保険認定者割合)...平成29年度目標値16%(現状値16%)						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ % ]	予定					70.00
		実績		52.50		47.20	
	成果指標2 [ 人 ]	予定	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績	0.00	5.00	27.00	18.00	8.00
	成果指標3 [ % ]	予定	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00
		実績	16.00	16.49	16.51	16.00	15.10
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	25,138,372	30,732,093	32,188,967	33,504,173	32,960,049	
	実績	24,316,601	29,639,430	146,607,418	31,748,782	33,488,590	
内部評価	貢献度	支援を必要とする人のニーズに応じた福祉サービスの提供や地域で支え合う環境を整えるためには本基本施策の目標達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	元気な高齢者の割合は増加し目標を達成しているが、保育所の待機児童が8名生じている。民生委員の相談支援件数は減少、障がい者に対する支援満足度は未調査である。					
	課題	支援を必要とする人が、住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるよう多様な主体が連携・協力する地域づくりに取り組む必要がある。					
	取組方針	支援を必要とする人たちが、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくため、多くの関係機関との連携・協働を更に強化し、包括的支援体制の構築を図る。					
外部評価	待機児童数は目標に近づいているが、待機児童ゼロを目指してほしい。 元気な高齢者の割合は目標に達しており良好であるが、介護予防事業により介護保険認定者割合の減少を図るべき。 急速に進む高齢化社会においては、福祉の充実が重要課題の一つであり、多様なニーズに応じた細やかな福祉サービスの提供、積極的な福祉の取組み、地域での支え合い助け合う環境整備が必要。 高齢者に対する施策は充実しているが、子どもの福祉に関しては、生活環境、貧困、虐待等の課題が多いため、軸足を高齢者から子どもに転換し、子どもの福祉に対する施策の充実を期待する。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	4201	総合的な福祉サービス提供体制の構築				80,162	100
	4203	子育て環境の充実				9,517,081	100
	4204	障がい者の自立支援の充実				4,300,620	100
	4205	高齢者の自立支援の充実				16,726,108	100
	4206	低所得者の自立支援の充実				2,471,263	91
	4202	地域福祉の充実				393,356	52

## 平成29年度 基本 施策評価表 補表

施策	42 総合的な福祉の構築		
区分	妥当性	妥当	支援を必要とする方が、地域で安心して暮らせるように、地域社会での互助・共助、公助等支え合いの仕組みづくりの為に本施策は妥当である。
	コスト削減の余地	有	切れ目の無い支援を提供する中で、必要量を満たしたサービスの提供や新規整備を抑制する等によりコスト削減の余地がある。
	受益者負担	適正	地域で生活していく上で支援を要する方からの負担となるが、サービスの提供等に際し所得に応じた負担等をされており、適正である。
	上位貢献度	有効	地域で安心して生活するため、地域での支え合い助け合う環境の整備のためには相談支援体制の強化等有効である。
	類似事業の有無	無	—
	成果向上の余地	有	障がい者、高齢者、子ども、生活困窮者等支援を必要とする方に対し、社会資源の整備や連携・協力を強化することにより、更に切れ目の無い支援をすることが出来る。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	要支援者の多様なニーズに応じた細やかな福祉サービスの提供を図り、様々な主体による福祉の取組が積極的に進められることにより、地域で支え合い助け合う環境の整備を促進することができるため、本施策の貢献度は高い。	
	達成状況	介護保険認定者割合が15.1%と目標値を下回り、元気な高齢者の割合は増加している。学童保育の待機児童は0人だが、保育所の待機児童が8人となっている。障がい者に対する支援満足度は未調査である。	
	課題	市民の福祉ニーズが多様化・複雑化しているため、多くの関係機関との協力、情報共有により様々な市民のニーズへの対応や、困難な事例への対応が必要となっている。また、市民に身近な課題を地域で受け止め解決する仕組みづくりについても推進していく必要がある。	
	取組方針	<p>地域で生活していくには複合的な課題を抱える方も多いため、多機関の連携を強化するとともに、地域の課題を地域で解決できる仕組みの構築を目指し、専門職と一緒に活動できる人材の確保を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者に対する支援満足度についての目標値について、総合計画後期基本計画策定に際して、最近の調査結果を参考に、目標値を55.0%とする成果指標を設定した。</li> <li>・複合的課題を抱える人や世帯は多く、多くの機関が連携、協働して支援を行う必要は高いため、今後もより多くの機関による連携が図っていけるように推進していく。</li> <li>・子育て世代を対象とした懇談会や、高校生を対象とした意見交換会等を開催しているが、若い世代の意見を聴き、ニーズの把握に努めていく。</li> </ul>	
	貢献度	要支援者の多様なニーズに応じた支援体制の構築や、細やかな福祉サービスの提供を図り、様々な主体による福祉の取組が積極的に進められることにより、地域で支え合い助け合う環境の整備を促進することができるため、本施策の貢献度は高い。	

内部評価 【前期5年分】	達成状況	介護保険認定者割合は、5年間を平均すると16.02%とほぼ目標値を推移しており、元気な高齢者の割合もほぼ目標通りとなっている。学童保育の待機児童についても0人と目標を達成している。しかしながら、保育所の待機児童については減少してはいるものの解消には至らず、障がい者に対する支援満足度についても目標達成には至っていない。
	課題	市民の福祉ニーズが多様化・複雑化しているため、多くの関係機関との協力や情報共有により、様々なニーズや、困難な事例への対応が必要となっている。
	取組方針	高齢者や障がい者、子どもなど支援を必要とする人達が、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくため、多くの関係機関の連携強化や、福祉サービスの提供、地域で支え合う仕組みを構築する。